稲穂

小樽市立稲穂小学校
学校だより　No.4
令和　4年　7月25日
文責　校長　大坂　充

【学校の教育目標】
りこうで
たっしゃで
ほがらかな
稲穂の子

稲穂小 WEB

ゴミも拾えない人間に　チャンスは拾えない

校長　大　坂　　充

大リーグにおいて投打の二刀流で大活躍の大谷翔平選手ですが、彼が投打以外の部分で全米に注目されたことがありました。それは、球場にゴミが落ちていると、それを拾ってポケットにしまうということです。このことは、日米の文化の違いも関係しているかも知れません。日本では小学生の頃から、教室や部室など、自分が使う場所は自分で掃除します。そのことによってきれいに使おうとする気持ちが育つということも期待できます。しかし欧米では、学校などの掃除は掃除のプロに任せるという文化が根付いています。他の大リーガーがゴミを拾わず、グランドキーパーなどを呼ぶのはそういう背景があるからかも知れません。

5年生の道徳の教科書に「夢を実現するためには」という教材があります。そこで紹介されているのは、大谷選手が高校1年の時に書いた「目標達成シート」です。そのシートには、『「ドラ 1」8球団』という最終目標（夢）を中心に、それをかなえるために必要な8つの目標を書き、さらにそのそれぞれを達成するために必要な8つの行動を書いています。その8つの目標の一つに「運」とあります。「運」をつかむために必要な8つの行動は、「あいさつ」「道具を大切に使う」「プラス思考」「応援される人間になる」「本を読む」「審判への態度」「部屋掃除」、そして「ゴミ拾い」でした。大谷選手は、このときに書いた目標をほぼ達成しました。さらに大リーガーとして最高の栄誉であるMVPにも選ばれました。それでも彼は、今もなおゴミを拾い続けているのです。

大谷翔平が花巻東高校１年時に立てた目標達成表

体のケア	サプリメントをのむ	FSQ 90kg	インステップ改善	体幹強化	軸をぶらさない	角度をつける	上からボールをたたく	リストの強化
柔軟性	**体づくり**	RSQ 130kg	リリースポイントの安定	**コントロール**	不安をなくす	力まない	**キレ**	下半身主導
スタミナ	可動域	食事 夜7杯 朝3杯	下肢の強化	体を開かない	メンタルコントロールをする	ボールを前でリリース	回転数アップ	可動域
はっきりとした目標、目的をもつ	一喜一憂しない	頭は冷静に心は熱く	**体づくり**	**コントロール**	**キレ**	軸でまわる	下肢の強化	体重増加
ピンチに強い	**メンタル**	雰囲気に流されない	**メンタル**	**ドラ1 8球団**	**スピード 160km/h**	体幹強化	**スピード 160km/h**	肩周りの強化
波をつくらない	勝利への執念	仲間を思いやる心	**人間性**	**運**	**変化球**	可動域	ライナーキャッチボール	ピッチングを増やす
感性	愛される人間	計画性	あいさつ	ゴミ拾い	部屋そうじ	カウントボールを増やす	フォーク完成	スライダーのキレ
思いやり	**人間性**	感謝	道具を大切に使う	**運**	審判さんへの態度	遅く落差のあるカーブ	**変化球**	左打者への決め球
礼儀	信頼される人間	継続力	プラス思考	応援される人間になる	本を読む	ストレートと同じフォームで投げる	ストライクからボールに投げるコントロール	奥行きをイメージ

かつての定番学園ドラマ「3年B組金八先生」で武田鉄矢　演じる坂本先生がこんなことを言っています。「ゴミも拾えない人間はチャンスも拾えましぇ～ん！」と。まさに、大谷選手は、ゴミを拾うということを続け、目の前に現れたチャンスをも拾い、見事に夢のさらに先まで進んでいったのです。

手前味噌になりますが、本校の教頭も子どもたちが登校する時間帯にほぼ毎日、ゴミ拾いをしています。バケツと火ばさみを持ち、校舎のまわりはもちろん、子どもたちが通学してくる各方面の道を進み、ゴミを拾ってきます。通りすがりの方などに、「ご苦労さまです。」「いつもありがとうございます。」などと声をかけられたことをうれしそうに報告してくれます。先日、ある方からいただいた手紙の追伸にこうありました。「出勤途中、校区のゴミ拾いをしている教頭先生を見ました。…頭が下がりました。」教頭は、校区のゴミを拾いながら、子どもたちの安全を拾い上げ、さらにその姿に気づいてくださる皆さんの信頼をも拾っていたのです。

さあ、いよいよ明日から夏休みです。ゴミを拾ってください、と言うつもりはありません。大いなる好奇心をもって、チャンスを見逃さず、チャレンジする夏休みにしてください。

R4　３つの重点「わかったことや思ったことを伝えることができる」
「自分の体を知り、体力向上や健康に気を付ける」「よりよいものを作り出すために協働できる」

5年・しっかり学んだ宿泊学習

7月7日（木）・8日（金）、5年生は天狗山のおこばち山荘にて宿泊学習を行いました。天狗山の自然を生かした環境プログラムで学び、キャンプファイヤーで火への感謝を知り、部屋やお風呂、食事で公共施設の使い方や仲間との協力を学びました。

天候にも恵まれ、笑顔いっぱいの楽しい宿泊学習でした。

4年・見学旅行＆屋形船

7月13日（水）、4年生は見学旅行として、塩谷にある「北後志広域クリーンセンター」と「札幌青少年科学館」に行ってきました。効率よく見学するため1組と2組で見学順を入れ替え、じっくりと時間をかけながら見学しました。

また、11日には4年1組が屋形船に、14日4年2組は強風のため観光船に乗り、海から見た小樽の様子や歴史について小樽観光ガイドクラブの方からの説明を聞きました。

全学年で実施「情報モラル教室」

小樽市教育委員会 ICT 支援員の藤平 繁範 氏を講師に迎えて7月20日から3日間、学年ごとに「情報モラル教室」を行いました。全ての学年を貫くテーマは「いのちをまもる」「ずっと楽しく」の2つです。そのためには、ルールを決め、それを守ること、個人情報は絶対載せないこと、知らない人とは会わない、ネット上のいじめも決して許されることではない、…など、豊富な事例なども交えながら説明してくれました。現在、中学生の7人に1人が「依存症」と言われ、さらに5人に1人がその予備軍と言われています。依存症になると、決めた時間で止めることができなくなったり、注意された時にも止められずに逆ギレしたりするようになります。さらに自分が依存傾向にあることを認められなくなるそうです。一度依存症になってしまうと、克服するには膨大な時間と労力が必要になります。夏休みを前に、ご家族で時間のルールを話し合い、必ず守る習慣を付けてほしいと思います。

標準学力調査結果のお知らせ

4月19日に3・5年生を対象として実施した「標準学力調査」の結果概要をお知らせします。

1　成　果

・国語「漢字の読み書き」や算数「たし算・ひき算・かけ算」では、ドリル等を使った継続的な学習により、目標値以上の結果が見られた。

・国語「話や話し合いの内容を聞き取る」や算数の「角の大きさ・三角形と四角形」では、話し合い活動を授業に取り入れたり、具体物を使ったり複数体制で進めるなどの丁寧な指導により成果が見られた。

2　課　題

・国語の「条件に合わせて書く」や算数の「説明する問題・活用する問題」に課題が見られたので、発達段階に応じて条件に合わせて書くことを授業に取り入れたり、解き方を説明する場面を設けたりする。

・算数の「わり算の筆算・きまりの問題」に課題が見られたので、チャレンジテストなど発展的な問題に計画的に取り組んだり、家庭学習における継続的な取組を行ったりすることにより定着を図る。

※さらに6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査結果とともに、本校児童の傾向をさぐり、2学期以降の学習指導に生かしてまいります。

R4　３つの重点「わかったことや思ったことを伝えることができる」
「自分の体を知り、体力向上や健康に気を付ける」「よりよいものを作り出すために協働できる」